



真中便り

【校訓】 自主・自愛・自省

2025. 6. 30 No.3

厚岸町立真龍中学校

発行責任者 福田 英明



欠席連絡用
QR コードです

※電話連絡の場合は
8:10以降に！

7月の行事予定

日	曜	行事予定	部活動	給食	学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	バス
1	火	ALT		○	1	○	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
2	水			○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
3	木	図書館バス		○	1	道	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	道	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	道	○	○	○	○	○	
4	金	港まつり市中大パレード(ジャージ登校) ALT		○	1	○	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	○	○	○	○	○	○	
				○	3	○	○	○	○	○	○	
5	土	釧新旗リーグ(サッカー)		○	1							
				○	2							
				○	3							
6	日			○	1							
				○	2							
				○	3							
7	月			○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
8	火	宿泊研修結団式 ALT	部活動休止(2年生のみ)	○	1	○	○	○	○	○	○	14:10
				○	2	○	○	○	○	○	○	16:10
				○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
9	水	宿泊研修1日目(2年生)		○	1	行	行	○	○	○	○	15:35
				○	2	行	行	○	○	○	○	18:00
				○	3	行	行	○	○	○	○	
10	木	宿泊研修2日目(2年生)		○	1	行	○	○	○	○	○	15:35
				○	2	行	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	行	○	○	○	○	○	
11	金	回復休業日(2年生) 茶話会(3年生)18:30-19:30		○	1	○	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
12	土	ジュニア選手権(バドミントン)		○	1							
				○	2							
				○	3							
13	日			○	1							
				○	2							
				○	3							
14	月	前期専門委員会⑤		○	1	○	○	○	○	○	○	14:25
				○	2	○	○	○	○	○	○	
				○	3	○	○	○	○	○	○	17:00
15	火	ALT SC		○	1	○	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
16	水	職員会議(定例・生徒理解研修) 定時退勤日	部活動休止	○	1	○	○	○	○	○	○	14:25
				○	2	○	○	○	○	○	○	
				○	3	○	○	○	○	○	○	
17	木	思春期講座(1年生) 図書館バス		○	1	○	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	○	○	○	○	○	○	
				○	3	○	○	○	○	○	○	18:00
18	金	授業参観日②(全学年・5時間目) 学年懇談会(放課後) ALT		○	1	○	○	○	○	○	○	15:10
				○	2	○	○	○	○	○	○	
				○	3	○	○	○	○	○	○	17:00
19	土	夏季講習会(バドミントン)		○	1							
				○	2							
				○	3							
20	日			○	1							
				○	2							
				○	3							
21	月	海の日		○	1							
				○	2							
				○	3							
22	火	ALT		○	1	○	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
23	水			○	1	○	○	○	○	○	○	15:45
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
24	木	チャレンジテスト②校内締切		○	1	○	○	○	○	○	○	16:00
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
25	金	1学期終業集会 大掃除 ALT		○	1	○	○	○	○	○	○	15:30
				○	2	○	○	○	○	○	○	18:00
				○	3	○	○	○	○	○	○	
26	土	夏季休業(～8/24) 吹奏楽コンクール(吹奏楽)		○	1							
				○	2							
				○	3							
27	日			○	1							
				○	2							
				○	3							
28	月	自主学習期間1日目		○	1							
				○	2							
				○	3							
29	火	自主学習期間2日目		○	1							
				○	2							
				○	3							
30	水	自主学習期間3日目 少年の主張管内大会(3年:松尾維楓出場)		○	1							
				○	2							
				○	3							
31	木			○	1							
				○	2							
				○	3							

「ミスター」

校長 福田 英明

厚岸では、まだそれほどでもありませんが、全国的には、早くも厳しい暑さが続いています。今年も、例年にない暑い夏が来るのでしょうか。

さて、6月3日にプロ野球 読売巨人軍の終身名誉監督 長島茂雄さんがお亡くなりになりました。89歳でした。ちまたでは、「3」日(長島さんの背番号で巨人の永久欠番の「3」の日)に「89」歳(ヤキュウ)で亡くなり、さすが野球に人生を捧げた長島茂雄さんだと言われております。

長島さんは、立教大学時代から当時のホームラン記録を塗り替えるなど、スーパースターでした。そんな長島さんが、まだ学生野球より人気の無かったプロ野球に入ったのは、昭和33(1958)年です。開幕戦で、後の400勝投手国鉄スワローズの金田正一投手から4打席連続三振を喫したのが、プロ野球でのスタートでした。次の年、史上初の天覧試合でサヨナラホームランを放ち、プロ野球を国民的スポーツへと押し上げました。高度経済成長期の昭和40年代には、後のホームラン記録世界一の王貞治選手とともに巨人を牽引し、9年連続日本一に貢献するなど、国民的大スターとなりました。しかし、昭和49(1974)年、巨人は優勝を逃し、長島さんも引退を決意します。最終戦後のセレモニーで「我が巨人軍は永久に不滅です」の名言を残しユニフォームを脱ぎました。

選手を引退後の昭和50(1975)年に巨人の監督となるも、巨人史上初で唯一の最下位に転落。しかし、次の年から2年連続優勝を果たしました。その後、2年連続優勝を逃すと、監督を解任され、怒ったファンによる親会社の読売新聞の不買運動にまで発展するなど、現役を退いてからもファンに愛される人でした。

平成5(1993)年、再び監督に復帰した後は、「10・8決戦」と呼ばれるペナントレース最終戦での同率チーム同士の試合を「国民的行事」と称して関心を集め、勝利して優勝を果たしたり、最大11.5ゲーム差をひっくり返しての優勝で「メークドラマ」という言葉を流行語大賞にしたりと、常に野球界の中心でした。そして、平成12(2000)年には、王貞治監督率いるダイエーホークスと「ON対決」として日本シリーズを戦い、日本一になっています。この間、松井秀喜選手を4番打者にするための1000日計画を実施し、日米で活躍する強打者に育てました。平成25(2013)年、長島さんは、松井さんとともに国民栄誉賞を受賞しました。(もともと国民栄誉賞は王貞治選手がホームラン記録世界一になったことでつくられた賞でした)

平成13(2001)年を限りに巨人の監督を退いた後、アテネオリンピック野球日本代表監督に就任しました。このチームは初めてオールプロ野球選手で臨んだチームで、その初代監督に長島さんが選ばれたのでした。しかし、平成16(2004)年に脳梗塞で倒れ、オリンピックの指揮を執ることはできませんでした。

長島さんは、現役時代、自分が努力するところを他の人には見せませんでした。ファンからどのように見られているかを常に意識し、プレーだけを華麗に見せることでファンを楽しませていました。しかし、脳梗塞で倒れた後は、必死にリハビリする姿を見せ、全国の同じ境遇の人に勇気を与えていました。

平成13(2001)年を限りに監督を退いた時に、インタビューで「長島さんにとって野球は何ですか?」という問いに、「野球というスポーツは人生そのものです」と答えています。長島さんは生涯をかけて、「どう生きるか」を問い続け、体現してきた人生だったのではないのでしょうか。

長島さんの生まれたのは昭和11(1936)年2月20日です。戦前の日本が軍国主義に舵を切る転機となった2・26事件の1週間前に生まれました。戦前・戦中・戦後の暗い時代を抜け出し、明るく活気あふれた高度経済成長期は、長島選手の活躍した時期と重なります。長島さんの明るく華麗な「生き方」は日本国中をも明るく変えていったのでした。

反対に、80年前の戦争中、日本人は「どう死ぬか」が問われていました。御国のために大切な命をどう使うかが問われていたのです。20年前の映画「男たちの大和/YAMATO」で、長島茂雄さんの長男、長嶋一茂さんが海軍大尉役で出演し、「死二方用意」と黒板に書き、戦闘に入っていたシーンは、実話に基づいたシーンでした。

「平和」とは生きることが許される時代のこと、生きることが許されないのは、最大の不幸なことです。長島さんの死が平和な時代の終わりとならないよう、生きている我々は、学び続けていかなければならないのではないのでしょうか。

1年生:協力が光った遠足!

6月13日(金)、ネイパル厚岸での活動を満喫してきました。チーム対抗で行ったモルックは初めての生徒も多く、大変楽しみながら取り組むことができました。昼食はカレー作りに挑戦しました。班ごとに協力しながらテキパキと進める姿が大変素晴らしかったです。



少年の主張

5月31日(土)に、厚岸町「少年の主張」大会が厚岸情報館で開催されました。昨年度末に実施した校内予選で選ばれた二名が出場しました。二人とも日頃の学習の成果を存分に発揮できた発表で、3年:松尾維楓さんは最優秀賞、2年:加藤菜々さんは優秀賞に選ばれました。おめでとうございます!

松尾さんは、7月30日(水)に実施される管内大会に、厚岸町の代表として出場します!



小中連携!

小中9年間の連続した学びを充実させるため、様々な取組を進めています。今年度は、学校生活全般の連携としての「よくわかる!真龍小学校」「よくわかる!真龍中学校」を作成・配付したり、学習面の連携として出前授業を実施したりしています。出前授業は、英語・体育・音楽など、それぞれを専門とする中学校の先生が小学校に赴いて授業を実施しています。先日は、本校体育教諭による新体カテストに向けた授業を実施しました。今後は、小中お互いの授業参観を通した子供の実態交流や授業の在り方の研究、中学校卒業後を見据えた進路指導の連携などを進めていき、真龍地区の子供たちの育ちを支えていきます。



釧路地区中体連!

6月14日(土)の野球部を皮切りに、中体連が始まりました。どの生徒も日頃の練習の成果を存分に発揮しています。勝敗以上に、子供たちの全力を尽くす姿に胸が熱くなりました!

【野球】6月14日(土) ウインドヒルひがし北海道スタジアム
1回戦 VS プレーブくしろ U-15 0-5

【陸上】6月21日(土) 22日(日) 釧路市民陸上競技場
3年:太田 有優 走高跳 第1位

【柔道】6月22日(日) ウインドヒル釧路スーパーアリーナ
男子個人戦 55 kg級 3年:藤田 脩真 準優勝

【サッカー】6月28日(土) 釧路市民陸上競技場附属競技場
1回戦 VS 富原中 3-1
準決勝 VS SV.AbenDeur 0-6 第3位

【男子バスケ】6月28日(土) ウインドヒル釧路スーパーアリーナ
1回戦 VS 桜が丘中 71-27
2回戦 VS 青陵中 43-87

【女子バスケ】6月28日(土) ウインドヒル釧路スーパーアリーナ
1回戦 VS 大楽毛中 72-38
2回戦 VS 釧路町女子 BC 11-123

【バドミントン】6月28日(土) 29日(日) 釧路町総合体育館
男子団体 1回戦 VS 虹別中 3-0
準決勝 VS 遠矢中 0-2 第3位
女子団体 1回戦 VS 景雲中 3-0
準決勝 VS ノーススタージュニア釧路 0-2 第3位
男子ダブルス 3年:平田凌太郎・金谷 依吹 ベスト8
3年:佐藤 洸太・古谷 彪我 ベスト8
女子ダブルス 3年:湯浅 妃菜・中村 莉音 ベスト8
2年:山本さくら・小島 凜夕 ベスト8



学校教育活動に関するアンケートのお願い

毎年7月、12月に実施している学校評価アンケートを今年度も行います。学校の教育活動について、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。第1回目は7月7日(月)~18日(金)で、オンラインで回答していただく形で実施します。近くなりましたらご案内いたしますので、ご協力、よろしくお願いいたします。

